

2023/10/15
SUN
13:30～17:00

シーボルト来日 200 年記念国際シンポジウム

「シーボルト研究の 100 年」

場 所：長崎歴史文化博物館講堂

主 催：国立歴史民俗博物館、長崎市 協 力：長崎歴史文化博物館

進行：工藤航平（国立歴史民俗博物館・准教授）

13：30～13：35 開会挨拶 西谷 大（国立歴史民俗博物館・館長）

司会：宮坂正英（長崎純心大学・客員教授）

13：35～13：50 報告 1 日高 薫（国立歴史民俗博物館・教授）

「シーボルト父子の日本展示とその復元 国立歴史民俗博物館のプロジェクトが目指したもの」

13：50～14：20 報告 2 ブルーノ・リッツフェルト（ミュンヘン五大陸博物館・元副館長）

「ヴィルヘルム・ハイネによる日本の絵画とシーボルトの『ニッポン』にみるそのモデル」

14：20～14：45 報告 3 堅田智子（関西学院大学・助教）

「アレクサンダー・ハインリッヒ・フォン・シーボルト研究の現在

― 日独関係史の深化と発展を目指して ―」

（休憩 15 分）

15：00～15：25 報告 4 木村直樹（長崎大学・教授）

「シーボルト研究から対外関係史研究へ その広がり」

15：25～15：50 報告 5 織田 毅（シーボルト記念館・前館長）

「長崎におけるシーボルト研究」

（休憩 5 分・会場設営）

15：55～16：50 コメントおよび質疑応答 これからのシーボルト研究

司会：宮坂正英

登壇者：小林淳一（東京都江戸東京博物館・前副館長）、沓澤宣賢（東海大学・名誉教授）、日高 薫、
ブルーノ・リッツフェルト、堅田智子、木村直樹、織田 毅

まとめコメント：コンスタンティン・フォン・ブランデンシュタイン＝ツェッペリン

16：50～16：55 閉会挨拶 徳永 宏（シーボルト記念館・館長）